

～生命の種を蒔いて 地球を守ろう～

菜種

なたね
農業委員会だより

第45号 2021年1月

編集と発行
北栄町農業委員会
北栄町由良宿423-1
TEL(0858)37-3135



あつまらいや～やらいや～たのしまいや！

「あつまらいや北条」会長 そえだ 副田 ゆきお 幸男さん（田井・75歳）

地域振興団体「あつまらいや北条」では、田井営農組合の全面協力です。4aの圃場にて、もち米を作りました。春には手植えによる田植え、秋に鎌を使った刈り取り、自然風味を味わう「はで干し」、晩秋には待ちに待った餅つきが大変賑やかに行われました。この活動について会長の副田さんに思いを語っていただきました。

10月、町内の小学生40名と先生や保護者、あつまらいや北条メンバーの総勢70名で稲刈りを行いました。初めて鎌を使う子どももおり「しんどい」「きたない」と投げ出さないかと心配しましたが、最後まで頑張る姿を見て、お米の大事さを体感してくれた様子に我々会員も食農教育の大切さを実感したところです。

この事業は、地域の子どもの農業体験、自然体験、地域住民との相互交流を目的としています。米作りは生きた体験をさせることができる大変有意義な活動です。

最後に営農組合の方々をはじめ、協力して頂いた皆様に感謝いたします。ありがとうございました！

（文 副田 幸男）
（取材 前田 浩明）

月	申請書メ切日
1月分	(受付終了)
2月分	1月25日(月)
3月分	2月25日(木)
4月分	3月25日(木)

農家相談日
1月 7日(木)
2月 9日(火)
3月11日(木)
4月 9日(金)

時間：13時～15時
場所：北栄町大米農村環境改善センター

【主な内容】

- 農家相談を行います
- やってみならん？ 電子申請
- イイね 担い手



第11弾 農産物プレゼントクイズ

お知らせ① 農家相談を行います

農地や農業全般について、困りごとはありませんか？

農業委員が相談を伺います。

開催日：(本誌表紙に記載)

時間：13時～15時

場所：大栄農村環境改善センター

相談者の秘密は固く守ります。

どうぞお気軽にお越しください。



お知らせ② やってみならん？電子申請

農業委員会への申請・届出(一部)等が、インターネット上で行えるようになりました。

農地を
相続した

農地を
貸したい
売りたい

農地を
借りたい
買いたい

農地法関係
申請書案(等)
(売買、転用)

「菜種」への
投稿

その他
ご相談

とっとり電子申請サービス 北栄町

でネット検索

→「北栄町」を選択

→希望項目を選択し、入力フォームへ



ご不明な点は農業委員会事務局までお問合せください。

お知らせ③ 別段面積(下限面積の特例)を設定しました

通常、農地を取得するには50a以上の農地を所有することが要件の一つとなっています(下限面積要件)。これは、小規模な農地では十分な農業経営を行うことが難しいと判断されるためです。

しかしながら、住宅地周辺等の小規模農地については、大規模耕作を行う経営体からは敬遠される傾向もあり、担い手の多様化が急務となっ

ています(小規模兼業農家や移住者など)。そのため、今般北栄町では下限面積を一部緩和し、1aから農地を所有できることとしました。(※優良農地は50a)

コロナ禍により、「田園回帰」志向が高まっているとのことですが、「田舎でのんびり農業をして暮らしたい」、そんな希望を叶える一助となればと思います。(文 永田 恭彦)



よくある質問に お答えします Q&A

Q1 田畑の貸し借りトラブルを避けるために、契約書を取り交わしたいのですがどうすればよいですか？

A1

貸し主・借り主で互いに年数、賃料、支払方法などを相談の上、「利用権設定」の用紙に記入し、農業委員会へ提出してください。借期間が終了すれば、農地所有者に農地が返ってくるため、安心して貸し借りできます。また、場合によっては中途の合意解約も可能です。詳しくは、農業委員会へお問合せください。(文 池田 誠)



10/1 法人営農状況調査を実施

農業委員会では、毎年、町内の法人事業所の営農状況を調査し、必要場合は指導を行うこととしています。今年度は、(有)牧田稲研究所(米里)と合同会社ふれあい(西園作業場)を訪問しました。



調査当日は営農状況調査及び現況確認に加えて、情報交換や農地相談の受付を行い、今後も積極的に連携を図ることとしました。

(取材・文 永田 恭彦)



11/11・17 町長と議長に意見書提出

農業委員会は町の農業者を代表し、農業の健全な発展に寄与する立場から、農業委員会等に関する法律第38条第1項の規定に基づき、施策の改善提案を意見として提出しました。主な内容は以下のとおりです。

1. 社会の変化に適應する農業施策への取り組み(移住促進、新しい農政推進体制、「夢と希望が持てる農業のまち」の実現)
2. 農業者の経営改善を促進する取り組み(家族経営協定、農業者年金)
3. 農業を地域で育て守る取り組み(町民が一体になる農業の行事、農家相談)
4. 農業分野で直面する問題点への対策を強化する(鳥獣害対策、ジャンボタニシ対策)



イイね 担い手

頑張る期待の担い手を紹介します。



いしだ かずなり
石田 和成さん

(亀谷・44歳)

「福岡から北栄町に来ました。来た当初は勤めていましたが、大栄西瓜を初めて食べた時すごくおいしかったので、北栄町の特産大栄西瓜に興味を持ちました。このことがキッカケで就農を決意しました。」と石田さんは語ります。一念発起、おいしい西瓜を作れるようにと3年間村岡雅規さん宅で研修を受け、2年前に独立。大栄西瓜50a、後作に小玉

西瓜24a、メロン12a、ブロッコリー60aを一人で栽培されています。(取材時は奥様がお手伝いされていました。)

「亀谷に住むことになり、自治会の皆さんに温かく迎えていただきました。また、営農相談等にも親身に対応していただいたりと環境がとても良いです。」と終始笑顔で取材に協力していただきました。今後の活躍に期待しています。

(取材・文 齋尾 直久)



しのだ みさお
篠田 操さん (56)

あけみさん (46) 夫妻
(下神)

父が高齢により農業を断念したことをきっかけに、代々受け継がれてきた農地を絶やしてはいけないという思いと同時に、将来における食糧の重要性を感じ、強い決意で会社を早期退職し、農業を始めました。

白ネギを100a、夫婦2名とパート従業員数名で周年栽培しています。現時点の課題は、暑い

夏をどのように乗り切るか、どのようにすれば真っすぐ伸びるかという点です。

父が栽培していた白ネギは皆さんから好評を得ていたようです。第一目標は父を超える白ネギ作りです。将来的には豊富な知識とパワーを兼ね備えている地元の方をたくさん雇用し、規模拡大することで生まれ故郷の発展に貢献したいです。

(文 篠田 操)
(取材 濱根 泰弘)



11/19 令和2年度農業委員会特別研修会

(於 倉吉未来中心 小ホール)

今年はコロナ禍で人数が制限された中、県内全域から約100名の参集がありました。

当委員会の濱坂会長(写真)が事例発表を行い、先進的事例として他市町村からも注目されている北栄町の取り組みを紹介しました。



続いて、全国農業会議所の事務局長 稲垣照哉氏の講演では、農地利用最適化の推進のために「農地の番人」から「農地を動かす人」へと変化する農業委員会について話されました。年に1度の研修会での学びを持ち帰り、これからの業務に反映したいと思います。

(取材・文 杉川 一二美)



11/20 第10回青年農業者研修会開催

今回は、県とっとり農業戦略課 藤井晶子専技主幹を講師に招き、経営改善の一手法である「家族経営協定」についての講演を聞きました。

経営改善のポイントとして「家族が達成意欲を持てる目標を立てる」等を挙げ、家族全員で話し合い、目標を決めることでやる気アップに繋がると話されました。

参加者は意見交換を行い、各々の現状を振り返りました。参加して「特に後継者の妻の立場は弱く、意見も言いづらいことが多い。労働時間や給与額を明確にし、働きやすい環境の整備が重要」と感じました。

研修後、早速夫婦での協定締結を実行に移す方もありました。



(取材・文 竹信 啓子)

農産物プレゼントクイズ

(3名様)

ねばりっこ

クイズ

表紙のもち米作りを行ったのは？

答え

あつまらいや ○○

(ヒントは1ページをご覧ください)

応募箱に備え付けの応募用紙、ハガキ等またはメール本文に、○に入るクイズの答えと、住所・氏名・年齢・電話番号・「菜種」へのご意見、ご感想を書いて、郵送、持参、メール（下記アドレス（右下のQRコードで読み取り可能）で応募してください。ただし、応募は町内在住の方で1世帯につき1通に限りです。

- ・応募箱は、北栄町図書館本館・北条分室に置いています。
- ・当選者には電話にてご連絡します。
- ・賞品の受け渡し場所は、農業委員会事務局です。

応募期限：令和3年1月31日(日) (当日消印有効)

郵送先：〒689-2292 東伯郡北栄町由良宿 423-1

農業委員会事務局「農業委員会クイズ係」

メールアドレス：nogyouiinkai@e-hokuei.net



前回の正解は ⑦ 割以上 でした

空き農地情報バンク

売買、賃借に至らなかった農地について、買い手・借り手を探しています。

《売りたい・貸したい》

No	農地の所在	地目	面積(a)
1	国坂西沖小野2458-1(賃借)	畑	13
2	国坂東小野2575(売買)	畑	26
3	国坂東小野2581-1(売買)	畑	54
4	西園外ヶ浜1510(売買)	畑	13
5	大島中橋1021-9(売買・賃借)	田	12
6	大島中橋1021-13(売買・賃借)	田	2



ホットたいむ

スイカ畑の粘土で
陶芸作品が出来ました！



濱坂会長の畑の地下50cmのところにある粘土を半年間熟成させて作ったものです。



(文 竹原 正純)

将来に安心を！農業者年金

北栄町内でも多くの方が加入している農業者年金。

「節税」(保険料全額が社会保険料控除)になり、**積み立て方式の終身年金**。農業に従事する方なら広く加入できるため、**長生き時代を生きる女性**にも、ぜひ加入してほしい年金です。また、**若いほど有利な政策支援**もあります。詳しくは農業委員会まで。

(文 杉川 一二美)



お問合せ先 農業委員会事務局 ☎ 37-3135

経営と暮らしに役立つ農業総合専門紙



購読してみませんか？



- 毎週金曜日発行
 - 購読料 月700円(税込・送料込)
 - 農業の最新情報をわかりやすく解説
 - 家族全員が楽しめる記事も掲載
- ～購読のお申込みは農業委員会まで～

お詫び 本誌第44号掲載のジャンボタニシの被害は、正しくは「30ha」でした。お詫びして訂正します。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、幾多のイベント、行事等が延期・中止となりました。なかでも楽しみにしていた東京オリンピック・パラリンピックがまさかの1年延期となりましたが、未だに新型コロナの勢力は衰えない状況で、開催できるのか？再延期・中止の声が気になる昨今です。

しかし、医療の進歩と我々の行動により感染拡大を阻止できると信じ、東京オリンピック・パラリンピックを楽しみたいと思います。

次号は4月発行予定です。

(文 齋尾 直久)

広報委員/杉川 一二美・濱根 泰弘・池田 誠・前田 浩明・永田 恭彦・齋尾 直久・竹信 啓子・一二三 満雄